

キャラクター名 イザベラ	プレイヤー名
-----------------	--------

シンドローム	ハヌマーン モルフェウス		ワークス	作業員	カヴァー	スナイパー
	オプショナル		年齢	不明(推定14~5歳程度)	性別	女
覚醒	感染	衝動		妄想	初期侵食率	28%
出自	天涯孤独	経験		家族	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	2	0	0			2	行動値	7
感覚	3	1	0			4	(非装備時)	9
精神	1	0	0			1	戦闘移動	14
社会	2	0	0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	11		RC			交渉	1	
回避	1		知覚	1		意志			調達	5	
運転:			芸術:			知識:			情報: 軍事	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
レッドテンペスト	射撃	4r+11		22		攻撃したメインプロセス終了後HP-1D10。同一エンゲージ攻撃不可
	射撃	7r+14		22		
↑+シューターズジャケット込	射撃	8r+14				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
シューターズジャケット		3	-1	-2	<射撃>判定のダイス+1個。セッション中取得

所持品		合計装甲:	3	合計回避:	-1
サイドリール					
インフィニティノヴァ					
デモンズシード					
ウェポンケース					
暗視ゴーグル					
ロイス		最大財産P:	14	残り財産P:	13
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費	
Dロイス: 想い人	P	N			
Dロイス: 賢者の石	P	N			
私の全て: クシエル・マクダレーナ	P 執着	N 偏愛			
クシエルさんの恋人: レイズ・マイフィールド	P 誠意	N 無関心			
クシエルさんの仲間: 霧 雨	P 連帯感	N 無関心			
クシエルさんの従者: トバルカイン	P 連帯感	N 嫉妬			
破壊目標: 兵器ALKEEP	P 執着	N			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト: モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果:	C値-LV(下限値7)							
カスタマイズ	3	2	メジャー	武器	-	射撃	-	
効果:	命中ダイス+LV個							
剣聖の手	1	2	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果:	カスタマイズ使用時、命中ダイスの出目を1つ10に変更する。シナリオ[LV+1]回。							
音速攻撃	1	2	メジャー	武器	-	射撃	-	
効果:	命中ダイス+LV個							
サポートデバイス	5	6	セットアップ	至近	自身	自動	80%	
効果:	選択した能力値を使用するダイス+[LV×2]個、シナリオ3回							
マシラのごとく	4	5	メジャー	-	単体	シンドローム	80%	
効果:	攻撃力[LV×10]、判定ダイス-5個							
リミットリリース	1	6	オート	至近	自身	自動	100%	
効果:	C値-1(下限値5)							
ギガノトランス	1	20	メジャー	視界	シーン(選択)	シンドローム	120%	
効果:	組み合わせたエフェクトの射程を視界を変更する。シーン1回							
妄想の写し身	1	5	オート	視界	単体	自動	衝動・120%	
効果:	自分の攻撃が自分への攻撃の出目を1つ1か10に変更する。1度の判定に1回、シナリオLV回							
蝙蝠の耳	1							
効果:	あらゆる音を聞き分ける。必要な際は<知覚>で判定							
効果:								
効果:								
効果:								

10年前にクロドヴァ公国のある内戦に巻き込まれ家族を全員亡くし、自身も名前を含めたすべての記憶を喪失した状態でクシエル・マクダレーナに拾われる。そのため現在の名前も拾われた後に付けられた名前であり、本名は不明。拾われた時点で既にオーヴァードとして覚醒していた。

その後は傭兵を仕事としていたクシエルの力になりたいと思い、自分も傭兵になることを決意。クシエルの役に立ちたいという(彼女にとっては真摯な)感情からくる勤勉さと、幸か不幸かオーヴァードとしては希少な「賢者の石」を扱う才能に恵まれたこともあり、拾われて5年もする頃には優秀な狙撃手となっていた。

自らを拾い育ててくれたクシエルを母親代わりとして「盲信的に」信頼しており、クシエルのいう事には疑問を持たず全てにおいて喜んで従おうとする。戦場では一切の感情を持たずただ目標を機械のように撃つ狙撃手としての仕事に徹しているが、内心では「あの人の一番信頼される道具(もの)になりたい」「私を一番使ってほしい」という歪な独占欲と「あの人の道具(もの)として壊れるまで使ってほしい」「壊れる時はあの人の役に立って壊れたい」というある種の破壊願望を抱いている。

性格はクシエルの前にの役に立つ事と褒められることを唯一の喜びとし、クシエルの前でだけ年頃の少女のような恥じらいやあどけなさを見せるが他の人物相手には感情表現に乏しくなり等しく距離を置こうとする。彼女の中の世界は全てクシエルを中心に回っており、クシエル以外の人物に対しての評価は基本的に「クシエルさんの味方」「クシエルさんの敵」の2つと「それ以外(敵にすらなり得ない)」の3つでのみ構成される。味方と認識した場合は最低限ながらもコミュニケーションを取ろうとする一面も持つが、敵とみなした相手にはターゲットとして必要なデータにのみ興味を持ち、それ以外の人物に関してはほぼ関心を持たない。

戦闘では大型の銃を使った狙撃を得意とする。また前述の通りオーヴァードの中でも希少な「賢者の石」の適合者でもあり、狙撃時には狙撃手の鉄則たる「ワンショット・ワンキル」を忠実に遂行するため、石の力を最大限まで解放し目標を一撃で沈黙させることを目的とした戦法を取ることが多い。彼女にとって賢者の石の力は「クシエルさんの役に立つための道具」という認識であり、彼女からの命令を遂行するためなら石の副作用である侵蝕率の急上昇によるジャム化のリスクもいとわない。